

2019年5月吉日

医療機関関係各位

「病院の働き方改革」第2回懇談会
～医師による医療現場の働き方改革の実践事例～

hrms-jp 医療人事労務マネジメント研究会
代表 社会保険労務士 河北 隆

おかげさまで第1回懇談会は、病院関係者ほか、医師・弁護士・社労士、事業会社の皆さまにご参加いただき、活発な意見交換の場になりそうです。

さて早速ですが第2回は、医師による医療現場の働き方改革の実践事例として、ベーシカル・ヘルス産業医事務所代表 佐藤 文彦先生を講師に迎え、真の意味での「医療現場の働き方改革」に学ぶ機会といたく、多数のご参加をお待ちしております。

記

1. テーマ

医療現場の働き方改革：大学分院で医局員全員の残業時間を減らして収益を上げた事例
～コーチングを用いた組織開発とは～（実践事例）

大学医局から地域拠点病院に診療科長として派遣され、「誰も行きたがらなかった」「誰も定時で帰れなかった」「それなのに収益性が上がらない」診療科を、如何にして「みんなが行きたがる」「みんなが定時で帰れる」「なおかつ収益も高まる」診療科に大変革させたのか、そのノウハウの真髄を紹介します。

2. 講師

ベーシカル・ヘルス 産業医事務所代表 佐藤 文彦先生

【経歴】

平成10年5月 東京都済生会中央病院内科臨床研修医

平成13年6月 順天堂大学医学部内科・代謝内分泌学講座入局

平成15年1月 日本赤十字社医療センター第一内科医員

平成18年4月 順天堂東京江東高齢者医療センター助手

平成18年10月 順天堂大学代謝内分泌学助教、順天堂医院健康スポーツ室出向

平成24年7月 順天堂大学附属静岡病院 糖尿病・内分泌内科 科長

平成24年7月 順天堂大学医学部内科・代謝内分泌学講座准教授（診療）

平成28年9月 日本IBM株式会社専属産業医、日本IBM健康保険組合 選定議員

平成30年5月 Basic Health 産業医事務所 代表

3. 開催日時・場所

<第2回開催日時・場所>

2019年6月25日(火) 18:00~20:00

千葉市民会館・3階第5会議室

<http://www.f-cp.jp/shimin/access-location/access.html>

4. 参加料

おひとり1回2000円を頂戴します。

5. 参加申込

電子メールにて下記あて「第2回懇談会へ参加」の旨ご一報下さい。<定員次第>

hrms@grace.ocn.ne.jp 河北

<講演趣旨>

今年4月から働き方改革関連法案が施行され、日本中の様々な企業では急ピッチで残業時間短縮が図られ、労働環境が劇的に変化してきています。

医療機関においても、この「働き方改革」は待ったなしの状況になってはきていますが、実際どの様に労働環境を改善させていけばよいのか、見当もつかないと思われる医療関係者もまだまだ多いのが実情ではないでしょうか。

この医療現場での「働き方改革」を、第3次救急を担っている地方の大学病院分院の内科医局で、組織開発の一環として「コーチング」の手法の手助けを借りながら、5年も前から実践し、それにより2~3年後には、医局員全員の残業時間が大幅に削減され、かつ収益も年々上昇させることを実現化させました。

大学医局から地域拠点病院に診療科長として派遣され、「誰も行きたがらなかった」「誰も定時で帰れなかった」「それなのに収益性が上がらない」診療科を、如何にして「みんなが行きたがる」「みんなが定時で帰れる」「なおかつ収益も高まる」診療科に変革させたのか、そのノウハウの真髓を、この懇談会でご紹介したいと考えております。

医療機関における「働き方改革」を進めていく上で、院長職や管理職としては、いったいどういった考え方をすることが必要となり、どういったことを学んでいく必要があるのか。そして、組織の中で各職員にどういった「場」を提供する必要があるのか等についての具体策をご紹介し、その後、皆様と一緒にディスカッションしていく予定です。

是非、多数の先生方のご参加をお待ちしております。

ベーシカル・ヘルス 産業医事務所代表 佐藤 文彦

fumihiko@basical-h.jp

<https://basical-h.jp>

以上